

肝臓の自己免疫性疾患てなに？

大阪市立大学医学部附属病院

肝胆膵内科

吉田香奈子

本日の内容

- 肝臓について
- 肝臓の自己免疫性疾患について

{ 自己免疫性肝炎
原発性胆汁性胆管炎

本日の内容

- 肝臓について
- 肝臓の自己免疫性疾患について
 - 自己免疫性肝炎
 - 原発性胆汁性胆管炎

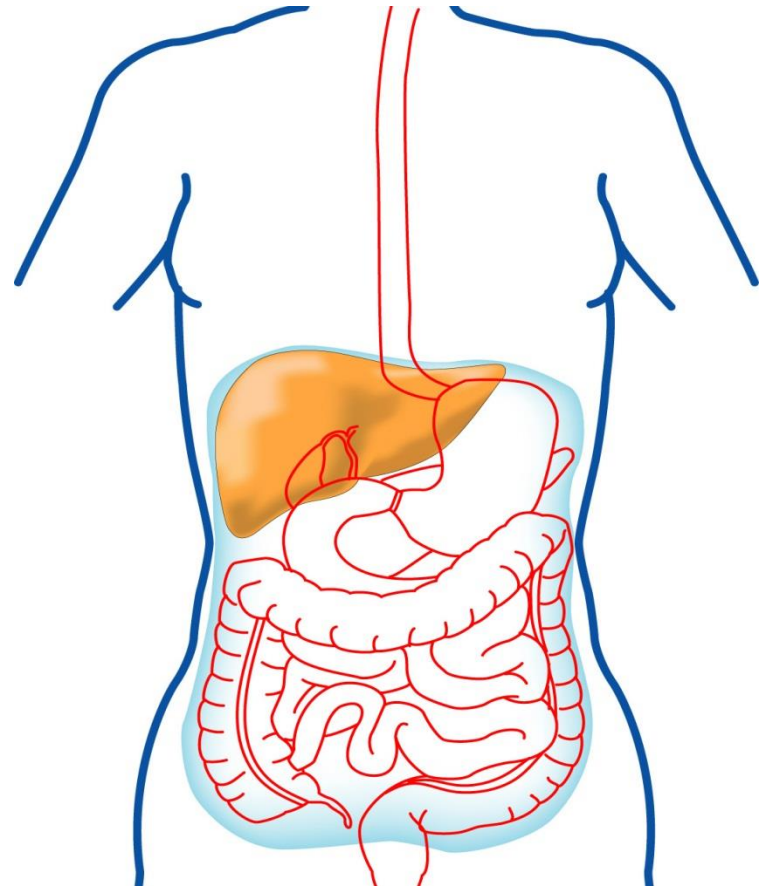
肝臓とは

最大の実質臓器

約1 kg～1.5 kg

最大の化学工場

沈黙の臓器



肝臓は化学工場

必要なものを作る

アルブミンなどの
蛋白

糖

脂肪

凝固因子

胆汁



不要なものを
分解・解毒する

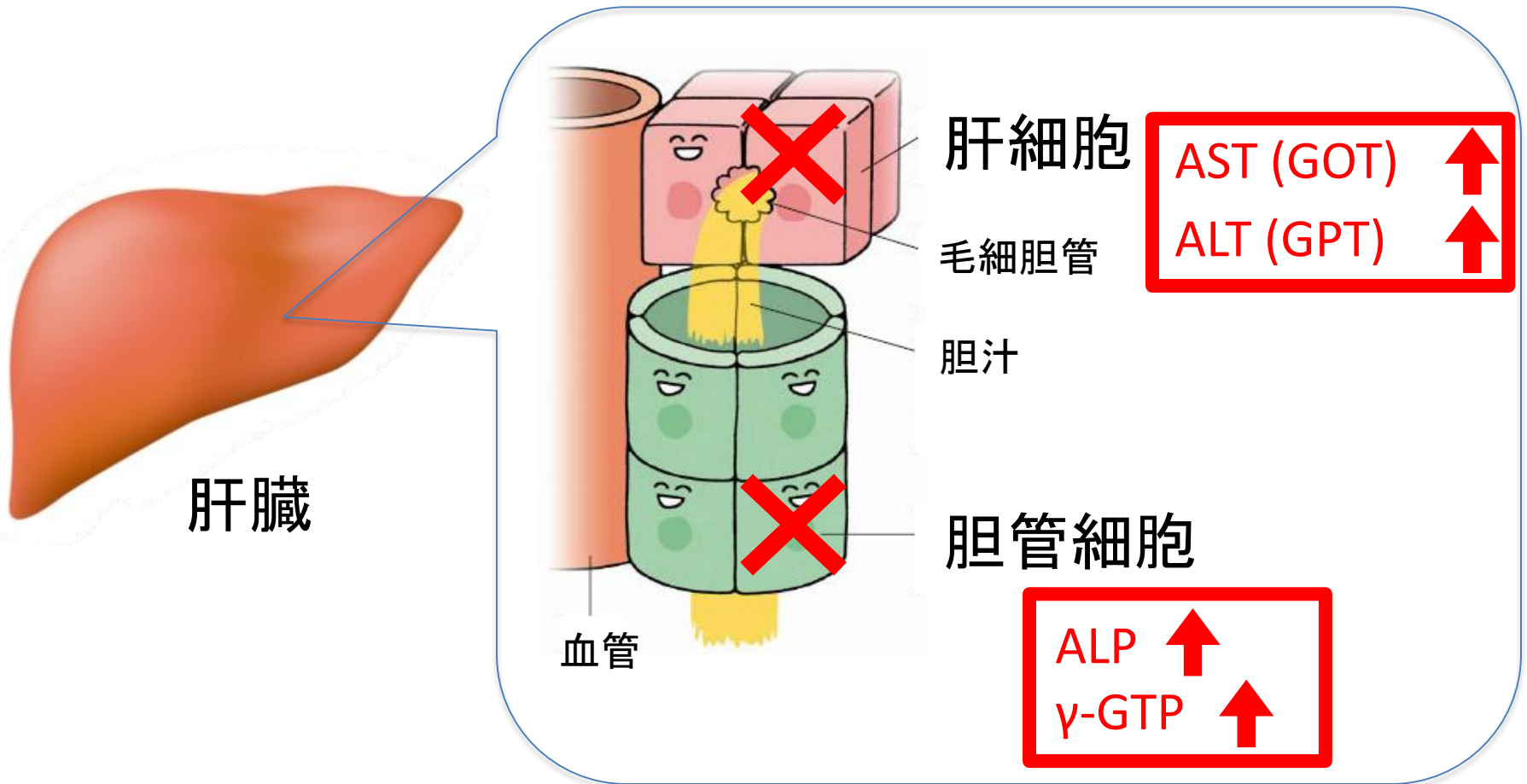
アンモニア

薬物

アルコール

肝臓の微小環境

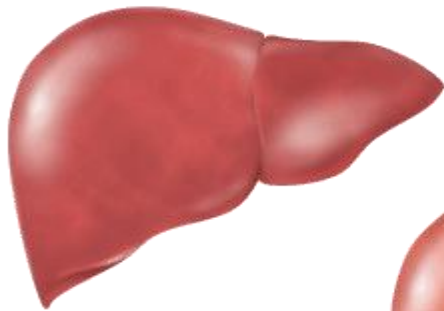
肝臓は複数の種類の細胞で成り立っている



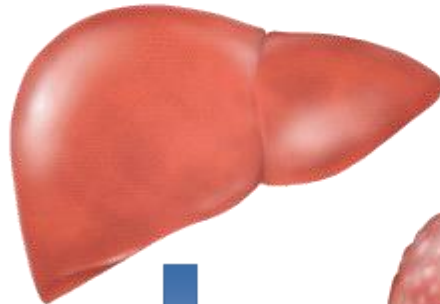
〈病気のお話 肝・胆道系疾患より抜粋改変〉

肝臓は沈黙の臓器

正常



慢性肝炎



肝硬変



肝がん



病気が進行しないと
症状は出ない

数年～数十年

黄疸, 腹水, 肝性脳症,
食道胃静脈瘤

だから

肝臓の病気は

症状が出る前に

検査して

治療しましょう

肝臓の病気（慢性肝炎）の原因

- ウイルス（B型肝炎、C型肝炎など）
 - アルコール
 - 脂肪
 - 薬剤
 - 自己免疫性肝炎
 - 原発性胆汁性胆管炎
 - 先天性疾患
 - 代謝性疾患
- など

本日の内容

- 肝臓について
- 肝臓の自己免疫性疾患について

{ 自己免疫性肝炎
原発性胆汁性胆管炎

免疫ってなに？

自分(自己)と自分ではないもの(非自己)を見分けるところから始まる.

免疫細胞が, 侵入者(細菌 ウイルス)をみつけ, 攻撃し体から取り除く.

侵入者を記憶しておく
(ワクチンへの応用)

自己免疫反応ってなに??

自己の構成成分(細胞や細胞成分など)に対する免疫反応が生じる



自分で自分の体を攻撃する

免疫の暴走

原因不明

本日の内容

- 肝臓について
- 肝臓の自己免疫性疾患について
 - 自己免疫性肝炎
 - 原発性胆汁性胆管炎

自己免疫性肝炎とは

(Autoimmune Hepatitis: AIH)

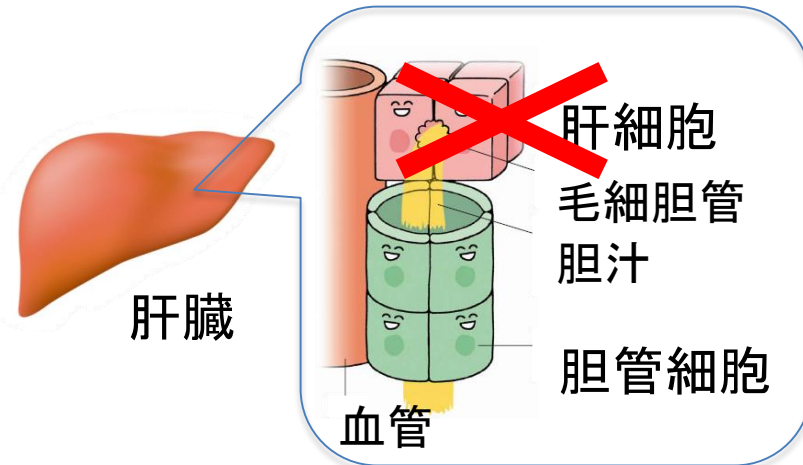
免疫細胞が肝細胞を攻撃し続ける慢性肝炎.

慢性肝炎の1.8%を占める.

50～60歳の女性に好発する。(男：女＝1：6)

時に, 劇症化する.

指定難病である.



自己免疫性肝炎 症状・検査

症状

多くは無症候性.

潜在性・慢性に経過し肝硬変へ移行する.

検査

《血液検査》 AST(GOT), ALT(GPT)が高値.
IgGなど免疫系の数値が上がる.
抗核抗体(自己抗体)が陽性になる.

《肝生検》 (肝臓の組織を採取する検査)
肝臓に免疫細胞が浸潤する.
特徴的な細胞が出てくる.

自己免疫性肝炎 治療

- ステロイドによる免疫抑制療法
- 多くの症例でよく効く

長期の治療が必要

自己免疫性肝炎の一例

自分は健康だと思って過ごしていたけれど、健康診断で肝機能障害を指摘されたことから、自己免疫性肝炎が判明し、治療によって肝炎の進行が抑えられた一例.



ただし、治療効果や病状経過は人によって様々です.

本日の内容

- 肝臓について
- 肝臓の自己免疫性疾患について
 - 自己免疫性肝炎
 - 原発性胆汁性胆管炎

原発性胆汁性胆管炎とは (Primary biliary Cholangitis: PBC)

免疫細胞が胆管細胞を攻撃し、胆汁の流れが滞って慢性肝炎がおこる.

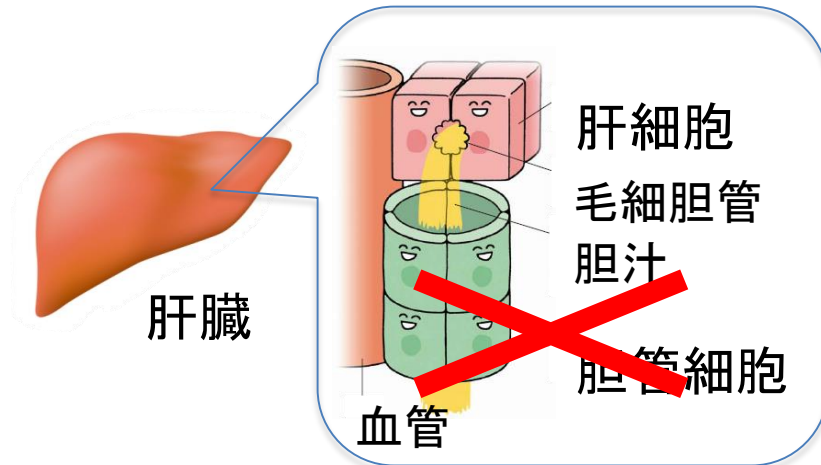
総患者数は5～6万人と推計.

50～60歳の女性に好発する.

(男：女＝1：7)

指定難病である.

肝移植が必要になることも.



原発性胆汁性胆管炎 症状・検査

症状

約8割は無症状. 疲労感, かゆみがあることもある.
潜在性・慢性に経過し肝硬変へ移行する.

検査

- 《血液検査》 ALP, γ -GTなど胆道系酵素が高値.
IgMなど免疫系の数値が上がる.
抗ミトコンドリア抗体(自己抗体)が陽性になる.
- 《肝生検》 (肝臓の組織を採取する検査)
肝臓組織中の胆管細胞に免疫細胞が浸潤し, 胆管が消失する.

原発性胆汁性胆管炎 治療

- ウルソデオキシコール酸(ウルソ®)

病気の進行を遅延させる効果が認められ, 肝移植までの期間や死亡までの期間を延長することが, 複数の臨床研究で確認されている.

長期的な治療が必要

原発性胆汁性胆管炎の一例

健康診断で指摘された肝機能障害は、お酒によるものではなくて、実は原発性胆汁性胆管炎によるものだったことが判明し、治療によって肝炎の進行が抑えられた一例。



ただし、治療効果や病状経過は人によって様々です。

まとめ

肝臓は沈黙の臓器と言われています.

まず, 定期検診などを受診しましょう.

肝障害を指摘された場合は, 必ず一度は専門医を受診して下さい.

適切な治療で進行を防ぐことができる病気が隠れているかもしれません.